

# 子育てサークル活動で配慮したい新型コロナウイルス感染症対策について

(R2.6 月資料作成)

◆活動のキーワードは、「3つの密を避けましょう!」です。



## ① 換気の悪い「密閉」空間はNG!

会場では、30分に一度、十分な換気を行いましょう。

- ・風の流れることができるよう、2方向の窓を、1回、数分間程度、全開にしましょう。
- ・窓が1つしかない場合は、入り口のドアを開けて空気の流れを作ったり、扇風機や換気扇と一緒に使うと換気の効果があがります。

### MaMa ぼっけからの知恵袋

窓を開ける時は、「子どもの転落の恐れがないか?」ドアを開けておかないといけないときは、机などを利用して会場からの飛び出しにも気をつけたいですね。

## ② 多数が集まる「密集」場所になってしまうことはNG!

「広島市主催のイベント等の開催に関する基本方針」では、「使用する会場の収容定員の半分以下の参加人数にすること」とあります。まずは、いつもの会場では、何組の親子(大人、子どもの総数)が集うことができるか? 収容定員を確認してみましょう。

### MaMa ぼっけからの知恵袋

子どもたちはお互いの動きや行動を真似っこしながら育っていきます。そんな体験ができるのも、サークル活動の大きなメリットです。子ども同士の密接、接触を避けることはなかなか難しいことです。そんな中で必要な配慮については、次ページの「ウイルスを持ち込まない!持ち出さない!」を参考にしなね。

## ③ 「密接」した会話や発声は、NG!

密接した会話や発声は、ウイルスを含んだ飛沫を飛び散らせがちです。WHOは「5分間の会話で1回の咳と同じぐらいの飛沫が飛ぶ」と報告しています。サークル活動内での親同士の情報交換は、とっても大切な時間ですよ。だからこそ、必ずマスクを着用して参加しましょう。

### MaMa ぼっけからの知恵袋

活動のおやつタイムやお弁当タイムは、楽しみな時間ですが、マスクを外す時間が長くなると飛沫が飛ぶ可能性を増やしてしまいます。水分補給以外の大人数での飲食は、残念ですが、今は行わない方がいいですね。また、子どものマスク着用については、日本小児科医会より「2歳未満の子どもにマスクは不要、むしろ危険!」とメッセージが出されています。参考にしなね。

## ◆「3つの密」に配慮した「新しいサークル活動のカタチ」をみんなで作っていきましょう(^)/

その大切なポイントは

「ウイルスを活動場所に**“持ち込まない”**そして、活動場所からよそへ**“持ち出さない”**」  
だそうです。そのために次のことを参考にしてみてください。

### ① 活動に参加する前に、検温・体調確認を行うことをみんなの新しいルールにしましょう。

これまでもインフルエンザが流行する時期にはみんなで配慮していたように、体調が悪い時は無理せず自宅療養し元気になったら、活動に参加できるといいですね。

### ② 会場に入るとき・退出時には、大人も子どもたちも、消毒または、手洗い（石鹸で30秒）をしましょう。

会場によっては消毒が準備されているかもしれませんが、準備されていない場合もあるかもしれません。そんなときはどうしたらいいか？メンバーみんなでアイデアを出し合うこともステキです。ちなみに、楽しく手洗いをするには、ハッピーバースデーソングを2回歌うと30秒になります。

### ③ 活動の内容で心配なことはありませんか？



#### 活動時間は短くしたほうがいいのかな？

「3つの密」を避けるための工夫と配慮ができていれば、いつもどおりでOKだそうです。

#### 水あそびできるかな？

コロナウイルスだけでなく、プールに水道水を入れてみんなで水に入るとは、様々な感染のリスクがじつは潜んでいるそうです。バケツなどに水をためて、水をすくったり、パチャパチャしたり、水鉄砲であそんだり、水の中にみんなで入らずにできる工夫をしてみましょう。

#### こんな状況の中

#### 新しいメンバーを募集してもいいのかな？

また活動が休止しちゃうかもしれない不安があるなかで、メンバー募集をすることは、入ってもらおう親子さんに申し訳ない！という声がありました。本当にそうかもしれませんね。

でも、ひとりぼっちでまた自粛生活がはじまったら、もっと辛いかもしれません。新しいつながりがきつと「コロナウイルスに負けない！」大きな力になるはず。3つの密に配慮して、可能な中で新しい親子さんをぜひ、迎えてほしいなあ～と、私たちは思っています。

#### おもちゃの消毒どうしよう？

サークル所有のおもちゃの消毒、それぞれが持参するマイおもちゃ、公民館などに設置されているおもちゃの利用、区社協からの「貸出のおもちゃ」など、いろいろなケースが考えられますね。それぞれにあった方法で「ウイルスを持ち込まない、持ち出さない」には、使い終わったら消毒すること、口に入れたおもちゃを気兼ねなくみんなで消毒する工夫ができるといいですね。

#### 感染が心配な人、そんなでもない人

#### いろんな思いがあり困ってます！

感染対策への心配度は、みんな違います。とっても心配な人、おおらかな人、そんな中でルールを決めるのはとっても本当にエネルギーのいる大変な作業だと思います。代表さんや役員さんは、決して一人で悩まないでください。そんなときは、MaMa ぼっけにいつでも相談してください。ひとつ、アドバイスをいただいたことは、国・県・市町が出している方針（ルール）を上手に使ってほしいとのことでした。

「子育てサークル活動で配慮したい新型コロナウイルス感染症対策について」を作成するにあたって、安佐南保健センター長（医務監）奥野博之先生に助言をいただきました。ありがとうございます。また、次の資料を参考にさせていただきました。皆さんも是非とも読んでみてください。

- ◆厚生労働省 HP より「新型コロナウイルス感染症の啓発資料・リーフレット「3つの密 new・解説」「新しい生活様式」の実践例
- ◆公益社団法人 日本小児科学会 HP より「乳幼児のマスク着用の考え方」

資料作成：子育て・サークル応援グループ MaMa ぼっけ

問合せ先：安佐南区社会福祉協議会（電話 082-831-5011）